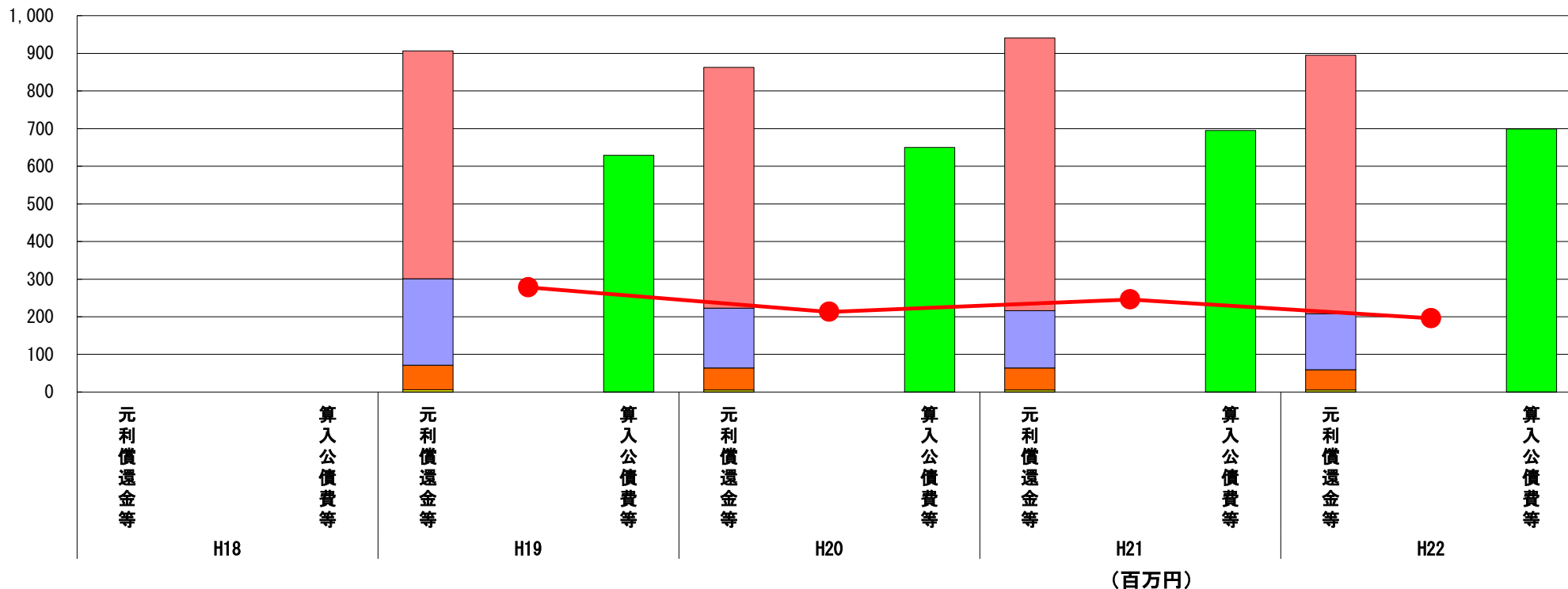


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道沼田町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金		-	606	640	725	687
	積立不足額考慮算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	230	159	152	149
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	65	59	59	54
	債務負担行為に基づく支出額		-	6	5	5	5
	一時借入金利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		-	629	650	695	699
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		-	278	213	246	196

## 分析欄

従前から行っている計画的な繰上償還の実施、地方債発行枠2億円/年の設定などにより元利償還金の低減を図っている。今後も毎年度実施している財政推計ローリングなどに基づき起債発行の抑制・計画的な繰上償還の実施など公債費の適切な把握・管理を行い財政の健全化を図る。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。